

令和元年度 第5回美郷町教育委員会議事録

日 時 令和元年8月28日（水）
13時30分～15時30分
場 所 美郷町役場3階入札室

<出席者> 田邊教育長、芦矢委員、大草委員、難波委員、漆谷教育課長

<欠席者> 西原委員

<議 題> 1、美郷町教育委員会事務事業評価について 【承認】
2、給食費補助の教職員対象除外について 【承認】

○教育課長 今日では西原委員さんがご欠席で、皆さん揃われましたので始めさせていただきます。それでは、はじめに教育長からご挨拶をお願いします。

○教育長 ご苦労おかけしております。ありがとうございます。たいした雨にならないことを願っております。今日は教育委員会の外部評価や給食費の関係、全国学力調査の結果など、また後でゆっくりお話をさせていただきたいと思います。他に部活動のアンケートなども計画しております。よろしくお願いいたします。

では会議録署名委員さんは芦矢委員さんと難波委員さんでお願いいたします。会期は今日一日限りでお願いいたします。

○委員一同 はい。

○教育長 会議録はいかがだったでしょうか。

○大草委員 特には何もありませんでした。

○教育長 ありがとうございました。

それでは私の諸報告ですが、レジュメをご覧ください。

今年の美郷大学ですが、先般8月26日に開講式を行いました。13名参加です。これまでの半分の日程で20回を10回にしたり、いろいろと出やすいようにしました。13名のうち、5名が2回目以上です。1人6年目です。13名で何とか開講できました。

昨日から2学期が始まりました。全員来て元気にやっているということです。明日、岐阜県白川村の視察があります。ICTと定住対策についてです。10月24日には三重県川越町から議員さん町

長さんが来られて、ICT教育で邑智小学校を視察されます。

それから、9月定例議会ですが3日から12日に行われます。予算決算委員会が各課で行われますので、少し時間がかかります。

9月7日に両中学校の体育祭、翌週14日に両小学校の運動会が行われます。9月16日に映画「あん」の上映会。これについては後で課長から説明します。9月19日の同推協講演会の講師さんの原作です。

9月18日から20日まで、両中学校とも近畿方面に修学旅行に出かけます。10月3日から5日まで山くじらフォーラムがみさと館と乙原を中心に初めて開かれます。

10月10日に町教研の一斉研修会が今年は大和中学校で行われます。10月17日に邑智郡小中学校音楽祭が悠邑ふるさと会館であります。10月23日から人事異動の教育長会が始まります。その下に3つほど資料を添付しています。

これは6月末に文科省が先端技術活用推進方策として出されたもので、今後のICT活用の方向を変えました。初めて、「児童生徒1人に1台」、それも2025年度までに整備を目指す。中段のあたりに、「タブレット端末はあったほうがよいではなく、なくてはならない」ということをはっきり言い出しました。その下には、世界最高速級の通信インフラをとく遠隔授業をとくいろいろ書いてあります。

その下に、6月28日に施行された「学校教育の情報化に関する法律」ですが、うちには少し遅くて7月末に届きました。先ほどの内容が載っていますが、新聞記事のほうがわかりやすいです。

次の資料は、島根県市町村教育委員会連合会を代表して、出雲市、浜田市の教育長さんと私とで県教委へ要望に行っております。例年のとおりの要望で、要望書はそこにつけています。ICTとか学校サポートとか加配教員のこととかいろいろ書いてあります。解答については昨日簡単に口頭でありましたが、文書で来ますのでまたお配りしたいと思います。さしたる進展はありません。

今日の新聞に載っていましたが、丸山知事が中学生までの医療費を無料にすると、しかし財源がないので個人負担を下げて、その財源に少人数学級を見直すと出ていました。これは県の教育委員会が言ったのではなく、総務部長さんが答弁しています。なぜ、少人数学級が出てきたのかは分かりません。

各学校に配置している学校司書についても、昨年県から「見直す」という話がありました。県が出している補助と国の交付税措置を足すと、学校司書の賃金よりも多く市町に入っているということ、財政部局が言い出して、その分を削るといつてきました。いろいろあって、今年度はそのままになりましたが、来年はそちらが削

られるのではないかと思います。

次に学力調査の結果についてです。今回は邑智と大和が逆転しまして、邑智のほうが高くなりました。後に昨年の結果をつけています。学年によって結果が大きく変わります。これはあくまでも、中3と小6だけです。3枚目から問題に応じての細かな結果が出ていますので、またご覧ください。各学校で詳細な分析と対応策を検討してもらうようにしています。私の報告は以上です。

○教育長 では次の美郷町教育委員会事務事業評価について課長から説明をお願いします。

○教育課長 先日お届けしました資料です。

「事務事業評価報告書」をご覧ください。2ページに「事務事業評価の流れ」が出ております。各係で作成しましたシートを私の方でまとめまして、教育委員会外部評価委員会に提出し、チェックをしていただきました。8月19日に外部評価委員会を開催しました。5名の委員さん方からいただきましたご意見を加えて、本日、教育委員会に報告させていただくということです。

3ページをご覧ください。評価の方法ですが、資料と一緒に送らせていただきました、美郷町教育振興基本計画の項目ごとに整理したものについて、事業評価ということで、A B C Dの評価をつけています。本日チェックをいただいたものを、最終的には議会の全員協議会で報告するという流れになります。

この報告書の後の方には、教育委員会の開催実績を記載しておりますが、良くご存知のことですので割愛させていただいて、評価の「総括表」の方をご覧ください。外部評価委員さんからご意見をいただいた項目を中心に説明させていただきます。

※事務事業評価総括表について読み上げ

- ・施策3 教職員の指導力向上
- ・施策4 基本的生活習慣の定着や家庭学習の習慣化
 (学習支援館について)
- ・施策7 教職員の情報リテラシー、ICT活用能力向上
- ・施策12 様々な読書活動の推進
- ・施策13 いじめや不登校がおきにくい学校づくり、いじめの早期
 発見と適切な対応
- ・施策14 ふるさと教育の充実
- ・施策33 インターネット使用の危険性や情報化に対応するための
 家庭教育力の向上

外部評価委員さんからコメントをいただいたところは以上ですが、目をとおしていただいて、これはどうだろうかというようなところがございましたら、ご意見をいただきたいと思います。

○教育長 何でもいいのです。

○芦矢委員 今説明があった3番目の教職員の指導力の向上ですが、一朝一夕に効果があった、なかったというのは大変難しいことだと思います。Aをつけるのは難しいし、かといってCというの。まあ、Bというところかなと思いますが、外部評価委員さんの意見で、一般的にはよく言われますよね。おもしろかった、楽しかったといえる授業。これは視点としては大切ですが、子どもたちが何をおもしろかったと言うのか、どういった状況を楽しかったと言うのか、子どもによってこれを丁寧に見極めていかなければいけないというのが、私の経験から言えることです。絶対的に面白かった、楽しかったという言葉が重要な要素になるかどうかということは、要注意です。

低学年などはちょっと変化を付けたら、おもしろかったと言います。難しいですね。そういう授業を作ってほしいということを学校に求められるのはわかりますが、そればかりではないと思います。今日の授業はためになったとか、苦しかったけどやりがいがあったとか、子どもの内面をもっと見ていかないといけないのではないかと、過去を振り返りながら思いました。

○難波委員 私は学習支援館以外のところではどうなのか気になります。公文とかもやっておられますし、それぞれにいろいろあると思いますが。支援館以外の塾について学校などは把握しておられるのでしょうか。英語なども行っておられると思うのですが。民間の塾の効果とかはどうでしょうか。学習支援館の内容もよくわからないのですが。

○教育課長 学習支援館ではまず宿題をする、それが終わった子はドリル学習などをしています。基本的に家庭学習、自主的に学習するということで、講義形式ではありません。しかし、保護者の中には講義形式の内容もたまには取り入れてほしいと希望される方もありますので、夏休みなどに集中的に講義形式を取り入れることもあります。

○難波委員 支援館に行っていない子はどうなのでしょう。本当に何もしないのか。あるいは、自分は自分できちんとやっていますということなのか。行っていない子に対して何かないのだろうかと思います。

○教育課長 学校がどこまで把握しているかというと・・・教育委員会でも民間

の塾に通っている子までは把握していません。

○教育長 塾だけでなく1時間以上家庭学習をしている子の数字は上がってきます。学校では家庭学習の定着を進めていますが、そこはなかなかです。

○難波委員 学校では熱心に教えていただいているのですが、それだけでなく自分でやる気を出さないと。ここでどうこう言うつもりはありませんが、行っていない子はどうかということがとても気になります。

○教育課長 行っていない人へのアンケート調査をしましたが、民間の塾に行っている人もいましたし、学習支援館がうるさいので嫌だという意見もありました。めんどくさいからという意見もありましたが、こうした子をどう学習に向かわせるかということも学校や家庭で考えなければならぬことだと思います。

○難波委員 こういう中で、今年島根中央高校は定員オーバーになっていました。危機感がないというか、勉強しなくても入れるといった流れはどのようなのでしょうか。

○教育長 危機感を持っていたと思います。幸い、うちの子はみんな通りました。

○芦矢委員 7番目の教職員の情報リテラシーのところですが、両PTA会長さんがいろいろな意見を言っておられます。たまたまそういう授業を観られたということかなと思いますが、私が思ったのは、学校側の説明力が求められるのではないかなと思います。授業によってしっかりタブレットに向かうという場面もあるので、たまに見たところだけを切り取ってそう思われるのだと思います。

担任は、今日の授業はこういうところを主眼に置いて、こういうように展開していくよときちんと説明する必要があると思います。

これは文字ですが、「返って」は「却って」ではないでしょうか。

○教育課長 はい、訂正します。

○芦矢委員 12番の様々な読書活動の推進のところで、指標を貸し出し冊数に換えてはどうかという意見がありました。それは一般的によく使われる数字ですが、私は図書館で借りずに、その場で読みます。それらはカウントされていないということですね。借りずにその場で本を読んでいることもあるので、それでもいいじゃないかと思います。

それから11番、13番のところで感じたのですが、文章表現で能

書きが多いように思います。ここで書く必要がないことが書かれています。全体的に説明的な表現は割愛したほうが良いと思います。

それから、村上先生を呼んでの実践は昨年度ですか？

○教育課長 はい、昨年度です。

○芦矢委員 ふるさと教育の充実のところですが、小中9年間の学びの系統化について・・・のところで、学校の理解を得ながら丁寧に進めていくことが必要と書いてありますが、何かあいまいな感じがします。

それから17番の文化活動啓発支援のところですが、参加団体や子どもの参加で来場者が増えたということですが、中学生のボランティアは昨年はなかったのですか？

○教育課長 舞台出演だけでボランティア参加はありませんでした。

○芦矢委員 今年が目玉でしたね。では来年の評価では載ってきますね。

それから、18番のふるまいの推進ですが、これは「未来を担う人材の育成」ということで、ターゲットが子どもになるわけですが、「ふるまい」に関しては、大人だと思います。昨年も言わせていただきましたが、大人が履き物を揃えないから、子どももできない。小学校では「履き物を揃えましょう」と指導しています。

○教育課長 大人がふるまいを正すこと、手本を示すことですね。

○芦矢委員 20番に書いてありますが、大人自身がモラルや意識の向上を図るというところにつながります。

○教育課長 18番の説明欄に大人のふるまいを入れ込みます。

○芦矢委員 22番ですが、結局課題は何なのか、もっと踏み込んでもいいのではと思いました。

32番の親学プログラムですが、大和小1回、おおち保育園1回だけなのですか？

○教育課長 これはPTAなどから要望があれば講師を派遣するという事業です。

○芦矢委員 要望されて担当者が行った回数ですね。美郷町の親学プログラムはどこからスタートしていますか？母子手帳をもらった時からですか？

- 教育課長 親学プログラムは親御さんたちを何人かのグループにしてワークショップをします。設問も流れも県教委が作成されたプログラムがあります。保護者からの要望で、今日はこのプログラムをやりましょう、といじめであったり親子関係であったり、テーマを決めてやっていきます。
- 芦矢委員 県教委が作ったプログラムは、実際に社会教育で実施しているところは少ないです。それでもやはり、美郷での親学プログラムは実施回数が少ないと思います。公民館で親学をやりますから集まってくださいと言っても、なかなか人は来ません。どこで捕まえるかということPTAです。しかし、PTAもふたを開けてみると誰も来ないということがあります。
- 教育課長 以前、就学時検診の時にやったことがあります。
- 芦矢委員 親学は、就学時検診の時ではもう遅いのですよね。3つ児の魂は過ぎています。母子手帳をもらうときですかね。しかし、男性の参加は少ないでしょうね。美郷町ではこれを整理して、しっかりやっていく事を考えないといけません。
- 教育課長 なにかしら集まる機会をとらえて、そこに仕込んでいくしかありません。個々につながりをもって、少人数からスタートするしかありません。個所数や時間数を増やして。そうすると親学を進めることができる人材を増やしていく必要があります。
- 芦矢委員 マンツーマンで指導していくような仕組みが必要ではないかと思います。ブックスタートというのはありますか？
- 教育課長 ありますが、本を保護者に渡して終わりといった様子です。図書館の職員が出向いて、お母さん方と読み聞かせの話をするように言っていますが、うまくいっていません。
- 教育長 子育て支援をもう少し強化する必要があります。奥出雲町では、子育て支援部門が教育委員会にあります。美郷町もそのようになるというのがいいのですが。
- 難波委員 課でぶつんと切れていて、うまく連携できていない気がします。小学校2校しかないのも、もう少し情報共有できるはずです。
- 芦矢委員 私は以上です。

○難波委員 いじめが原因ではないにしても、不登校は今ありますか？

○教育長 あります。中学校で、4人です。2人は何とか学校に行っていますが、2人は難しいです。小学校はありません。

○教育課長 事業評価の方はよろしいでしょうか。

○委員一同 (うなずく)

○教育長 給食費についてですね。

○教育課長 レジューメにつけております、給食費予算改正試算表という資料です。給食費は小学校が200円、中学校が220円の自己負担があります。食材費の3割部分は町が補助を出しております。実質その3割部分といいますが、小学校が87円、中学校が96円です。この補助が給食を食べる人全員に充てられておりまして、教職員、給食センター職員についても補助していることになります。この点について、ずいぶん以前から監査員の指摘を受けておりました。

学校に勤務する職員も増加し、平成26年度から予算化していた額では収まらなくなってきたこともあります。給食を無料としている吉賀町でも対象はあくまでも児童生徒ということで、これ以上補助を続けることは難しいと考えます。

給食センターについては、2学期から補助がない当たり前の金額で徴収することとしています。教職員については3学期から補助を廃止することを提案させていただきます。

○芦矢委員 全額補助は吉賀町だけですか？

○教育長 はい。

○芦矢委員 邑南町は？

○教育長 邑南町は食材の一部について補助があります。石見和牛などで、年に何回かです。

今日の校長会でもお話をさせてもらいましたが、平成26年に消費税が8%に上がるときに、値上げをしようかどうかという話の中で逆に補助して安くすることになりました。これと同時期に、教職員に一律400円の駐車料金もいただくことになりました。まあこれは致し方ないかなという反応でした。これでいかせていただきたいと

○委員一同 思います。よろしいでしょうか。
はい。

○教育長 では、その他をお願いします。

○教育課長 1 番の教育委員会関係秋・冬のイベントについてですが一覧表を付けております。いろいろ秋にイベントがございますので並べてみました。
(一覧表に沿って内容を説明)

2 番の部活動アンケートについてです。

かねてより、今年度検討しなければいけない部活動について、中学校保護者、小学校保護者、中学生全員、小学校 4 年生以上を対象にします。当初は 5 年生以上としておりましたが、PTA 会長さんから 4 年生以上にしてはとご意見をいただきましたので、そのようにいたしました。

9 月 4 日配布、9 月 13 日回収の予定です。保護者については封筒に入れたものを学校で配布してもらい、封筒に入れて返してもらう。児童生徒については、学級で調査票を配布、記入、回収してもらうこととしております。

今後のスケジュールとしましては、だいたい 9 月いっぱいアンケートの集計をして、10 月にアンケート結果をもとに検討会を 2 回開催できればと考えております。11 月に町教育委員会としての方針を出していただき、12 月にそれを議会の方でもお話しさせていただくようにしたいと思います。

文科のアドバイザーについては、臨時国会の状況次第で、こちらに来ていただけるかどうかは不透明です。案の案の状態のアンケートをアドバイザーにも送っていきまして、2 枚目にメールの文章を付けていますが、いろいろとご指摘をいただきました。それをもとに修正したのが、今日添付しておりますアンケート案です。

○教育長 今日の校長会でも、案についてなにかあれば 3 日までに知らせてもらうように言っています。

○教育課長 全員入部制は、今回の問題とはストレートに絡んではきませんが、校長先生の頭の中に全員入部制は大きくありますので、聞いておいた方がよいと考えて入れています。

最初のアンケート案では、全員入部制の説明はありませんでしたが、アドバイザーからの意見で入れました。

○教育長 石見中学校と羽須美中学校は全員入部制ではありません。羽須美中では以前、体が悪くて入部したくないという子を認めてから現在でも 4 人

入部していないそうです。石見中は今年の4月から全員入部をやめています。全員入部をやめてもあまり変わらないということで、もう少し調べるように言っています。

○芦矢委員 部活動は難しいです。やはり人数がいないと。大きい学校なら帰宅部が何人かいてもいいかもしれませんが、小さな学校では大変です。

○教育長 修正があれば3日までをお願いします。

○難波委員 保護者には結果は返すのですか。

○教育課長 検討結果も合わせてお返しします。

○教育長 最後に県外視察についてお願いします。

○教育課長 県外視察先の候補地ですが、島根県社会教育課からここがいいのではないかと勧めていただいたところです。山口県の萩市の萩東中学校と柳井市の箭内中学校です。両方とも学校と地域が連携しての地域づくりといったテーマです。

中を読みまして萩東中学校の方がうちの環境と似通ったところがあるのではないかと思います。いかがでしょうか。

○委員一同 いいと思います。

○教育課長 では相手方の都合もあるでしょうから、9月の終わりの週で調整します。

○教育長 以上でよろしいでしょうか。それでは終わらせていただきます。